平成 23 年 12 月 29 日

各　位

不動産投資信託証券発行者名
東京都港区六本木六丁目 10 番 1 号
六本木ヒルズ森タワー
ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人
代表者名　執行役員　増田　要
（コード番号：8981）
資産運用会社名
ジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社
代表者名　代表取締役　鈴井　博之
問合せ先　管理本部長　板橋　昇
TEL. 03-6439-0333

2011 年 11 月度の月次開示に関するお知らせ

ジャパン・ホテル・アンド・リゾート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）の 2011 年 11 月度の月次総売上高並びに宿泊部門の客室稼働率、ADR 及び RevPAR を下記のとおりお知らせいたします。本投資法人は変動賃料の支払いを伴うホテルであって、ホテル賃借人である株式会社ホテルマネージメントジャパンから開示について同意をうけることができたホテルについて継続的に月次開示をいたします。

記

ホテル／項目			11 月度	対前年同月増減 注6）	（参考）累計 注7）	（参考）対前年累計増減 注8）
神戸メリケンパーク オリエンタルホテル	稼働率		82.9%	0.1%	83.1%	−2.9%
	ADR	（円）	13,841	756	14,661	1,333
	RevPAR	（円）	11,473	638	12,178	724
	売上高	（百万円）	532	21	1,543	−23
オリエンタルホテル 東京ベイ	稼働率		99.2%	4.4%	99.0%	2.3%
	ADR	（円）	15,505	−864	16,551	−2
	RevPAR	（円）	15,388	−133	16,392	371
	売上高	（百万円）	643	31	1,817	42
なんばオリエンタルホテル	稼働率		86.1%	0.6%	84.3%	1.7%
	ADR	（円）	9,741	−156	9,849	96
	RevPAR	（円）	8,389	−75	8,299	242
	売上高	（百万円）	148	−8	442	−18
ホテル日航アリビラ	稼働率		76.6%	19.5%	82.9%	6.9%
	ADR	（円）	16,694	−170	20,273	−645
	RevPAR	（円）	12,781	3,153	16,799	903
	売上高	（百万円）	376	106	1,261	119
オリエンタルホテル広島	稼働率		79.4%	5.1%	77.7%	4.8%
	ADR	（円）	8,367	−553	8,347	−512
	RevPAR	（円）	6,647	15	6,483	29
	売上高	（百万円）	204	27	542	17
上記 5 ホテル合計	売上高	（百万円）	1,904	177	5,605	137

11 月度の実績に関するジャパン・ホテル・アンド・リゾート株式会社（資産運用会社）からのコメント：

神戸メリケンパークオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、訪日外国人等の減少は継続しているものの、東日本大震災（以下「震災」といいます。）の影響から回復してきており、レジャー客を中心とした国内需要の取り込みによりADRが増加したため、売上は前年同月を上回りました。料飲部門では、婚礼宴会の件数が前年同月を上回ったため、部門全体の売上は前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約21百万円上回りました。

オリエンタルホテル 東京ベイについて

宿泊部門では、東京ディズニーシー10周年の影響により稼働が前年同月を上回ったものの、ADRが前年同月を下回ったため、売上は昨年並の水準となりました。料飲部門では、婚礼宴会及び一般宴会の件数が前年同月を下回ったため、部門全体の売上は前年同月を下回りました。しかし、震災により発生した営業損失に対する保険金収入が約70百万円あったため、結果として、ホテルの総売上は前年同月を約31百万円上回りました。

なんばオリエンタルホテルについて

宿泊部門では、震災の影響から回復してきており、価格訴求商品により稼働は増加したものの、ADRは減少したため、売上は昨年並の水準となりました。また、レストラン売上は利用客数の減少により、前年同月を下回り、テナント部門では、一部テナント賃料が減少したため、ホテルの総売上は前年同月比を約8百万円下回りました。

ホテル日航アリビラについて

宿泊部門では、レジャー客の需要を中心に震災の影響から回復してきており、稼働率が前年同月を上回ったため、売上も前年同月を上回りました。料飲部門では、婚礼売上が宴会件数の増加により前年同月を上回ったため、部門全体の売上は前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約106百万円上回りました。

オリエンタルホテル広島について

宿泊部門では、集客チャネルの拡充による需要取り込みを図り、ADR が前年同月を下回ったものの、稼働が前年同月を上回ったため、売上は前年同月を上回りました。料飲部門では、婚礼宴会件数が前年同月を上回ったため、部門全体の売上は前年同月を上回りました。結果として、ホテルの総売上は前年同月を約 27 百万円上回りました。

注 1) 対前年累計増減とは、当期期首から当該月までの累計値と前期期首から前年該当月までの累計値との増減を記載しています。

注 2) 上記のコメントは資産運用会社が賃借人から提供を受けた情報に基づいて作成しており、あくまでおおむねの傾向についての参考情報として記載するものにすぎません。コメント中に記載された数値・情報については、監査等の手続を経ているものではなく、資産運用会社による独自の検証を行ないうる性質のものでもなく、個々の数字・内容の正確性・完全性について保証できるものではありませんのでご留意ください。

注 3) 各月の数字については監査等の手続きを経ていないため、各月を合計した金額は、後に提出する半期報告書、有価証券報告書に記載される6ケ月間及び年間の売上合計と合わない場合もあります。また、各月の売上についても、半期報告書、有価証券報告書に記載される各月の売上と相違する場合があります。

注 4) ADR ：平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計（サービス料を除きます。）を同期間の販売客室数合計で除した値をいいます。

注 5) RevPAR ：販売可能客室数当たり宿泊部門売上（Revenue Per Available Room)をいい、一定期間の宿泊部門売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除したものをいい、ADRと客室稼働率の積にて計算される数値と同値となります。

注 6) 客室稼働率については小数点第2位を、ADR、RevPARについては小数点第1位を四捨五入して記載しています。売上高については、百万円未満を四捨五入して記載しています。

注 7) 対前年同月増減とは当該月と前年同月との増減を記載しています。

注 8) 累計とは当期期首から当該月までの累計値を記載しています。

以上

＊本投資法人のホームページアドレス：http://www.jhrth.com/